

## 物理学 加藤(潔)担当クラス 概要

### ホームページと連絡

工学院大学の教員は新宿，八王子などを移動している。従って，連絡をとる場合は電子メールを活用すること。メール本文にクラス名，学生番号，氏名を明記すること。宛先は

**ft82039@ns.kogakuin.ac.jp**

である。返事は発信元にメールで行なう。なお，携帯電話から発信する場合は，十分な文字数の読み書きができるものとし，工学院のドメインから発信されたメールが着信拒否されない設定とすること。

担当者ホームページは「工学院大学→学園案内→共通課程→教員研究室リンク→加藤潔→教育の入り口→…」とたどればよい。

**<http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~ft82039/>**

を直接入力してもよい。ここには，講義に関連した各種情報を掲示してあるので，随時受講者は必ず閲覧しておくこと。演習室，カフェテリアなどが利用できる。

### 予習課題と復習課題

- 授業の進行については、シラバスに従う。各自大学のホームページで確認しておくこと。
- どの科目でもそうであるが、**予習・復習をせずに十分な理解は不可能**であると心得ること。指定された講義範囲（予習課題に指示）を教科書に基づき予習して、次回にどんな話が講義で展開されるかを予め理解してから講義に臨むこと。
- 予習・復習課題は上記の担当者ホームページに随時掲示する。課題と解答はノートに下書きをした上で、提出用紙に記入すること。これらは次回の講義の最初に回収する。
- 提出用紙は返却しない。（ノートを活用すること。）
- 課題は、それぞれの学生の学習を助けるためのものであることを理解し、他人のものを考えずに写すとか、直前にあわてて書くといった行為をしないこと。他の学生の課題を写したと推定される場合は、減点の対象とする（以下）。
- 期末試験問題の大部分はこれらの復習・予習課題あるいはそれと類似のものとなる。
- 予習課題については、対応する講義の中で解説される予定である。復習課題については、通常1～2週間以内に、確認用に解答例をホームページに掲示する。
- 得点 B（シラバスの成績評価方法を参照）については以下のとおりである。
  - \* 予習，復習課題1回 2. 5点満点（GE学部は2点）
  - \* 提出遅延は1/2に減点，内容不十分は減点
  - \* 用紙を提出していても欠席であった場合は－10点
  - \* 他の学生の課題を写したと推定される場合は，双方とも－10点
  - \* 得点 B はシラバスにある満点を上限とする。
- 提出用紙は必要に応じてコピーを作成すること。サイズの異なる用紙や手製用紙は受け付けない。＜厳守＞

## 講義の進行

- ◆ プロジェクターを使う。その日に登場する内容やあらすじは、予習により把握しているという前提で講義をするので、きちんと予習してくること。
- ◆ 表示されるものをあわてて書き写す必要はない。(複雑な式は教科書にある。)むしろ目と耳を使って、授業に集中し、良く考えること。
- ◆ 提示する Powerpoint ファイルの内容とほとんど同じものが、担当者のホームページに掲載されているので、適宜、予習復習に活用すること。
- ◆ 必要と思われるポイント、理解できたことなどを中心にノートにメモをとること。
- ◆ 予習時にわからなかったことがどの程度講義で明らかになったか確認しなさい。必要ならば、教室で質疑をしなさい。
- ◆ ノートはとりっぱなしではなく、講義後復習に活用しなさい。

## E ラーニング

予習、復習用に講義内容の一部が WEB 上のコンテンツとしある。参考情報は情報科学センターのガイドブックなどを見よ。閲覧には ID とパスワードが必要である。

演習室に行って e-learning のアイコンから起動する。各自、コンテンツを閲覧し学習すること。画面と音声による解説であるため、自分の使い慣れたイヤホンあるいはヘッドホンなどを使用すること。(持っていない者は演習室で借りることができる。)  
「オンライン講義申し込み」で「物理学 I」は複数ある。**自分の履修時限**のものを申請すること。

設備があれば自宅も閲覧できる。URL は <https://inavi.ns.kogakuin.ac.jp/coursenavig/service> である。

## 学習支援センター

授業はできるだけ初心者にも配慮して進行するが、カリキュラムで定めた目標に到達するためには、すべての学生に合わせて超初心者レベルまで下げることができない。学習支援センターが開設されているので、高校レベルの数学や物理に自信のない学生は積極的に活用すること。

## 試験、評価

- 期末試験の際、使用可能なのは筆記用具のみである。電卓等も不可である。(試験の実施条件は講義ごとに異なる。これは、あくまでも、この講義の試験の条件である。)
- 期末試験の日程は教務課が発表するので教員に質問しないこと。
- 期末試験のときは、学生証、筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、氏名記入用のボールペン)を持参すること。
- 成績評価は、シラバスに示してある式に従う。(得点 B の詳細はこの資料にある。)式に関する付加的説明がホームページにある。
- 試験終了後、解答例、講評、評価結果、質疑方法などを、ホームページに掲載する。日程などは、授業のおわりのあたりに指示するので、各自の責任で確認しなさい。
- ときどき試験後にいろいろ言ってくる学生がいるが、特別の対応は存在しない。努力は試験前にするものだということを確認しておく。